

復興に駆ける！

第 24 号
平成 26 年 4 月 24 日発行
岩手県立
生涯学習推進センター
TEL 0198 - 27 - 4555

◇ 今回はこちらの活動施設を紹介します。

ひょうごボランティアプラザ

(社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会)



震災直後の活動

兵庫県は「生涯学習発祥の地」と言われている。「ボランティア」という文化がこれまで脈々と受け継がれてきており、阪神・淡路大震災においても、ボランティア精神にあふれた活動が各地で展開された。

この施設は阪神・淡路大震災後に、ボランティアの拠点が必要ということで、平成 14 年に兵庫県が設置し、民間機関が運営する「公設民営方式」での開設となった。プラザでは、「交流・ネットワーク」「情報の提供・相談」「活動資金支援」「人材養成」「調査研究」の 5 本柱を掲げ活動している。

ひょうごボランティアプラザは、東日本大震災からの復旧・復興の支援に全力で取り組んでいる県の先頭に立ち、被災地・被災者を支えてきた。活動としては、ボランティアバスをこれまでのべ 200 台以上運行し、被災地に向けて運んだボランティアは約 5,000 人を数える。震災直後のゴールデンウィークには、東北自動車道ボランティア・インフォメーションセンターを高速道路の料金所跡地に開設した。そこでは、阪神・淡路大震災の経験を活かし、ボランティアが 1 箇所に集中することを防ぐため、全国各地から集まったボランティアへ被災地市町村のボランティアセンターの情報や被災地のニーズを伝えるといったマッチングを行った。これにより、報道等であまり取り上げられていなかった被災地へもボランティアが駆けつけた。

現在は、阪神・淡路大震災からの復旧・復興の教訓を踏まえ、ボランティア活動のために利用する公共交通機関や旅館・ホテルなどの料金を割り引く「災害ボランティア割引制度（ボラ割）」の実現を国や関係団体に要望している。少しでもボランティア活動をしやすい環境をつくり、ボランティア数を増やそうというのが狙いである。「ひょうごボランティアプラザのホームページで、オンライン署名ができるので、できるだけ多くの方に賛同いただきたい」と担当者は呼びかけている。



ボラ割実現に向けた署名活動

連絡先

ひょうごボランティアプラザ
TEL 078-360-8845 FAX 078-360-8848
Email: vplaza@hyogo-wel.or.jp

(※ 3 月 5 日、神戸市の事務所にて三橋^{みつはし}が取材)